

# 計算書類

2024年度

自 2024年 1月 1日

至 2024年12月31日

公益財団法人 岩谷直治記念財団



## 目 次

1. 貸借対照表	1
2. 正味財産増減計算書	2
3. 正味財産増減計算書内訳表	4
4. 財産目録	6
5. 財務諸表に対する注記	8
6. 附属明細書	10

## 貸借対照表

2024年12月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	546,859,108	493,992,665	52,866,443
流動資産合計	546,859,108	493,992,665	52,866,443
2 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	20,000,000	20,000,000	0
投資有価証券	29,739,017,140	26,585,755,595	3,153,261,545
基本財産合計	29,759,017,140	26,605,755,595	3,153,261,545
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	4,826,010	4,492,260	333,750
役員等退職慰労引当資産	10,500,000	9,950,000	550,000
公益事業基金	160,522,411	160,517,479	4,932
設立50周年記念事業積立資産	280,000,000	230,000,000	50,000,000
特定資産合計	455,848,421	404,959,739	50,888,682
(3) その他固定資産			
什器備品	157,064	201,881	△ 44,817
電話加入権	314,900	314,900	0
その他固定資産合計	471,964	516,781	△ 44,817
固定資産合計	30,215,337,525	27,011,232,115	3,204,105,410
資産の部合計	30,762,196,633	27,505,224,780	3,256,971,853
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	171,244,000	164,100,000	7,144,000
預り金	395,025	576,291	△ 181,266
流動負債合計	171,639,025	164,676,291	6,962,734
2 固定負債			
退職給付引当金	4,826,010	4,492,260	333,750
役員等退職慰労引当金	10,500,000	9,950,000	550,000
固定負債合計	15,326,010	14,442,260	883,750
負債の部合計	186,965,035	179,118,551	7,846,484
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
寄付金	29,849,317,140	26,696,055,595	3,153,261,545
指定正味財産合計	29,849,317,140	26,696,055,595	3,153,261,545
(うち基本財産への充当額)	(29,759,017,140)	(26,605,755,595)	(3,153,261,545)
(うち特定資産への充当額)	( 90,300,000)	( 90,300,000)	(0)
2 一般正味財産	725,914,458	630,050,634	95,863,824
(うち特定資産への充当額)	(350,222,411)	(300,217,479)	(50,004,932)
正味財産の部合計	30,575,231,598	27,326,106,229	3,249,125,369
負債及び正味財産合計	30,762,196,633	27,505,224,780	3,256,971,853

正味財産増減計算書

2024年1月1日から2024年12月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	801	200	601
基本財産受取配当金	537,252,950	392,607,925	144,645,025
特定資産運用益			
特定資産受取利息	6,208	2,343	3,865
運用財産受取利息			
運用財産受取利息	61,010	6,137	54,873
雑収益			
雑収益	2,000,000	2,010,692	△ 10,692
経常収益計	539,320,969	394,627,297	144,693,672
(2) 経常費用			
事業費	422,315,204	291,876,967	130,438,237
役員報酬	7,200,000	7,200,000	0
非常勤役員等報酬	61,890	0	61,890
出向分担金	7,104,300	0	7,104,300
給料手当	6,334,192	6,158,944	175,248
役員等退職慰労引当金繰入額	900,000	400,000	500,000
退職給付費用	233,625	133,812	99,813
福利厚生費	1,621,023	1,620,939	84
研究助成金	233,644,000	149,100,000	84,544,000
記念賞副賞等	10,474,100	15,000,000	△ 4,525,900
留学生奨学助成金	58,534,757	50,115,356	8,419,401
日本人奨学助成金	6,750,000	0	6,750,000
贈呈式会場・会食等	12,824,938	8,782,559	4,042,379
諸謝金	8,451,191	7,797,332	653,859
賃借料	11,740,249	11,803,445	△ 63,196
水道光熱費	600,885	521,453	79,432
会議費	14,075,828	2,749,442	11,326,386
旅費交通費	24,382,613	12,029,110	12,353,503
通信運搬費	1,010,124	1,371,025	△ 360,901
印刷製本費	6,251,850	4,925,250	1,326,600
広告費	2,464,000	7,891,510	△ 5,427,510
減価償却費	29,266	37,617	△ 8,351
什器備品費	77,062	46,167	30,895
為替差損	0	4,980	△ 4,980
雑費	7,549,311	4,188,026	3,361,285
管理費	21,141,941	17,403,827	3,738,114
役員報酬	2,400,000	2,400,000	0
非常勤役員等報酬	783,982	0	783,982
出向分担金	3,044,700	0	3,044,700
給料手当	2,714,648	2,639,542	75,106
役員等退職慰労引当金繰入額	450,000	300,000	150,000
退職給付費用	100,125	57,348	42,777
福利厚生費	603,949	603,305	644

諸謝金	0	804,613	△ 804,613
賃借料	6,235,228	6,265,416	△ 30,188
水道光熱費	319,308	277,098	42,210
会議費	86,504	87,884	△ 1,380
旅費交通費	435,109	437,332	△ 2,223
通信運搬費	418,717	295,818	122,899
諸会費	516,000	586,000	△ 70,000
新聞書籍費	124,800	118,200	6,600
広告費	31,240	31,240	0
消耗品費	584,363	630,431	△ 46,068
減価償却費	15,551	19,989	△ 4,438
什器備品費	32,090	39,444	△ 7,354
租税公課	0	2,000	△ 2,000
雑費	2,245,627	1,808,167	437,460
経常費用計	443,457,145	309,280,794	134,176,351
評価損益等調整前当期経常増減額	95,863,824	85,346,503	10,517,321
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	95,863,824	85,346,503	10,517,321
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	95,863,824	85,346,503	10,517,321
一般正味財産期首残高	630,050,634	544,704,131	85,346,503
一般正味財産期末残高	725,914,458	630,050,634	95,863,824
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価益			
基本財産評価益	3,153,261,545	2,657,335,745	495,925,800
当期指定正味財産増減額	3,153,261,545	2,657,335,745	495,925,800
指定正味財産期首残高	26,696,055,595	24,038,719,850	2,657,335,745
指定正味財産期末残高	29,849,317,140	26,696,055,595	3,153,261,545
III 正味財産期末残高	30,575,231,598	27,326,106,229	3,249,125,369

**正味財産増減計算書内訳表**  
2024年1月1日から2024年12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	641	160	801
基本財産受取配当金	429,802,360	107,450,590	537,252,950
特定資産運用益			
特定資産受取利息	5,885	323	6,208
運用財産受取利息			
運用財産受取利息		61,010	61,010
雑収益			
雑収益	2,000,000		2,000,000
経常収益計	431,808,886	107,512,083	539,320,969
(2) 経常費用			
事業費	422,315,204	0	422,315,204
役員報酬	7,200,000	0	7,200,000
非常勤役員等報酬	61,890	0	61,890
出向分担金	7,104,300	0	7,104,300
給料手当	6,334,192	0	6,334,192
役員等退職慰労引当金繰入額	900,000	0	900,000
退職給付費用	233,625	0	233,625
福利厚生費	1,621,023	0	1,621,023
研究助成金	233,644,000	0	233,644,000
記念賞副賞等	10,474,100	0	10,474,100
留学生奨学助成金	58,534,757	0	58,534,757
日本人奨学助成金	6,750,000	0	6,750,000
贈呈式会場・会食等	12,824,938	0	12,824,938
諸謝金	8,451,191	0	8,451,191
賃借料	11,740,249	0	11,740,249
水道光熱費	600,885	0	600,885
会議費	14,075,828	0	14,075,828
旅費交通費	24,382,613	0	24,382,613
通信運搬費	1,010,124	0	1,010,124
印刷製本費	6,251,850	0	6,251,850
広告費	2,464,000	0	2,464,000
減価償却費	29,266	0	29,266
什器備品費	77,062	0	77,062
為替差損	0	0	0
雑費	7,549,311	0	7,549,311
管理費	0	21,141,941	21,141,941
役員報酬	0	2,400,000	2,400,000
非常勤役員等報酬	0	783,982	783,982
出向分担金	0	3,044,700	3,044,700
給料手当	0	2,714,648	2,714,648
役員等退職慰労引当金繰入額	0	450,000	450,000
退職給付費用	0	100,125	100,125
福利厚生費	0	603,949	603,949

諸謝金	0	0	0
賃借料	0	6,235,228	6,235,228
水道光熱費	0	319,308	319,308
会議費	0	86,504	86,504
旅費交通費	0	435,109	435,109
通信運搬費	0	418,717	418,717
諸会費	0	516,000	516,000
新聞書籍費	0	124,800	124,800
広告費	0	31,240	31,240
消耗品費	0	584,363	584,363
減価償却費	0	15,551	15,551
什器備品費	0	32,090	32,090
租税公課	0	0	0
雑費	0	2,245,627	2,245,627
経常費用計	422,315,204	21,141,941	443,457,145
評価損益等調整前当期経常増減額	9,493,682	86,370,142	95,863,824
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	9,493,682	86,370,142	95,863,824
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	9,493,682	86,370,142	95,863,824
一般正味財産期首残高	235,889,516	394,161,118	630,050,634
一般正味財産期末残高	245,383,198	480,531,260	725,914,458
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価益			
基本財産評価益	2,522,609,236	630,652,309	3,153,261,545
当期指定正味財産増減額	2,522,609,236	630,652,309	3,153,261,545
指定正味財産期首残高	21,372,904,474	5,323,151,121	26,696,055,595
指定正味財産期末残高	23,895,513,710	5,953,803,430	29,849,317,140
III 正味財産期末残高	24,140,896,908	6,434,334,690	30,575,231,598

**財 産 目 録**  
2024年12月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金			546,859,108
	現金	手元保管	運転資金として	241,136
	普通預金	三菱UFJ銀行 赤坂支店	運転資金として	137,793
		三菱UFJ銀行 京橋支店	運転資金として	546,480,179
流動資産合計				546,859,108
(固定資産)				
基本財産				
	現金預金			20,000,000
	定期預金(指定)	三菱UFJ銀行 赤坂支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に使用している。	13,999,998
			運用益を法人の管理運営の財源として使用している。	6,000,002
	投資有価証券			29,739,017,140
	基本財産引当株式(指定)	株式(岩谷産業株式会社 16,530,860株)	(80%) 公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に使用している。	23,791,213,712
			(20%) 運用益を法人の管理運営の財源として使用している。	5,947,803,428
特定資産				
	退職給付引当資産			4,826,010
		普通預金 三菱UFJ銀行 赤坂支店	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付金の引当金である。	4,826,010
	役員等退職慰労引当資産			10,500,000
		普通預金 三菱UFJ銀行 赤坂支店	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する役員等の退職慰労金の引当金である。	10,500,000
	公益事業基金			160,522,411
	定期預金(指定)	三菱UFJ銀行 赤坂支店	寄附により受け入れた財産であり、運用益を運用益を公益目的事業の財源として使用している。	90,300,000
			公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に使用している。	69,895,586
	普通預金(指定)	三菱UFJ銀行 赤坂支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に使用している。	326,825
	設立50周年記念事業積立資産			280,000,000
		三菱UFJ銀行 京橋支店	50周年記念事業の為の積立金であり、特定費用準備資金として管理されている。	280,000,000
その他固定資産				
	什器備品			157,064
		書棚	公益目的事業と、管理業務で使用している共有財産である。	1
		可動式書棚	65.3%を公益目的事業のため、34.7%を管理目的のために利用している。	157,063
	電話加入権			314,900
		03-6225-2400 他3回線	65.3%を公益目的事業のため、34.7%を管理目的のために利用している。	314,900
固定資産合計				30,215,337,525
資産合計				30,762,196,633

(流動負債)	未払金			171,244,000
		2024年度岩谷科学 技術研究助成金	2025年度に公益目的事業の助成金として使用する。	161,244,000
		2024年度岩谷直治 記念賞	2025年度に公益目的事業の記念賞副賞として使用する。	10,000,000
	預り金			395,025
		職員源泉所得税等	2025年度に公益目的事業(70%)及び管理目的の業務(30%)に従事する職員の所得税等として使用する。	395,025
流動負債合計				171,639,025
(固定負債)	退職給付引当金			4,826,010
		三菱UFJ銀行 赤坂支店	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付金の引当金である。	4,826,010
	役員等退職慰労引当金			10,500,000
		三菱UFJ銀行 赤坂支店	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する役員等の退職慰労金の引当金である。	10,500,000
固定負債合計				15,326,010
負債合計				186,965,035
正味財産				30,575,231,598

## 財務諸表に対する注記

公益財団法人 岩谷直治記念財団

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの・・・決算日の市場価格等に基づく時価法によっております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品については定率法によっております。

(3) 引当金の計上基準

①退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

②役員等退職慰労引当金

役員等の退職慰労金の支出に備えるため、内部規程に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
現金預金	20,000,000	0	0	20,000,000
投資有価証券	26,585,755,595	3,153,261,545	0	29,739,017,140
小計	26,605,755,595	3,153,261,545	0	29,759,017,140
<b>特定資産</b>				
退職給付引当資産	4,492,260	333,750	0	4,826,010
役員等退職慰労引当資産	9,950,000	1,350,000	800,000	10,500,000
公益事業基金	160,517,479	4,932	0	160,522,411
設立50周年記念事業積立資産	230,000,000	50,000,000	0	280,000,000
小計	404,959,739	51,688,682	800,000	455,848,421
合計	27,010,715,334	3,204,950,227	800,000	30,214,865,561

(注) 1. 投資有価証券29,739,017,140円は全て岩谷産業(株)株式であり、当期増加分である

3,153,261,545円は、期末の時価評価による評価益であります。

2. 岩谷産業(株)は、2024年9月30日付で株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
<b>基本財産</b>				
現金預金	20,000,000	(20,000,000)	( 0)	—
投資有価証券	29,739,017,140	(29,739,017,140)	( 0)	—
小計	29,759,017,140	(29,759,017,140)	( 0)	—
<b>特定資産</b>				
退職給付引当資産	4,826,010	—	—	(4,826,010)
役員等退職慰労引当資産	10,500,000	—	—	(10,500,000)
公益事業基金	160,522,411	(90,300,000)	(70,222,411)	—
設立50周年記念事業積立資産	280,000,000	( 0)	(280,000,000)	—
小計	455,848,421	(90,300,000)	(350,222,411)	(15,326,010)
合計	30,214,865,561	(29,849,317,140)	(350,222,411)	(15,326,010)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高  
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。  
 (単位:円)

科目	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
什器備品			
書棚	450,000	449,999	1
可動式書棚	280,223	123,160	157,063
合計	730,223	573,159	157,064

## 附属明細書

公益財団法人 岩谷直治記念財団

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の2. において記載しているため、ここでは内容の記載を省略している。

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,492,260	333,750	0	0	4,826,010
役員等退職慰労引当金	9,950,000	1,350,000	800,000	0	10,500,000

# 監査報告書

2025年2月3日

公益財団法人 岩谷直治記念財団

理事長 小村 武殿

公益財団法人 岩谷直治記念財団

監事 田中伴一



監事 上田 憲



私たち監事は、法令並びに定款の定めに基づき、公益財団法人 岩谷直治記念財団の2024年度（2024年1月1日～2024年12月31日）の監査をいたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び正味財産の増減内容について、全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上